

■ちーびし

○執筆者紹介

- ①生年・出身地、②所属、③専門分野、
④研究業績、⑤奄美と関係した活動
の順番で掲載しております。

■山田 誠 (やまだ まこと)

- ①1946年・香川県
②鹿児島大学法文学部経済情報学科教授
③経済政策、地方財政、地域政策比較。従来の研究はドイツの地方財政が中心。近年は介護保険、高齢者福祉とともに、島嶼の研究に従事している。
④編著『奄美の多層圏域と離島政策』（九州大学出版会）
⑤奄美員会委員長。全学プロジェクト「奄美の『島』コスモス創出事業」代表。

■島谷 幸宏 (しまたに ゆきひろ)

- ①1955年・福岡県
②九州大学大学院工学研究院環境都市部門教授
③専門分野 河川工学、河川環境工学
④「里川の可能性」（共著）新曜社2006、「水をめぐる人と自然」（共著）有斐閣選書2003、「河川環境の保全と復元」（共著）鹿島出版2000
⑤永く建設省や国土交通省の河川環境整備を実践してきた経験から、2006年から奄美でリュウキュウアユ保全のための川づくりを提案。2007年からは佐渡島のトキ保全に向けた研究プロジェクトリーダーを務める。

■四宮 明彦 (しのみや あきひこ)

- ①1946年・熊本県
②鹿児島大学水産学部水産生物・海洋学分野教授
③魚類生態学 海洋生物学
④「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物－汽水・淡水魚」（共著）自然環境センター2003、「川の生きもの図鑑」（共著）南方新社2002、「よ

みがえれ日本産淡水魚 日本希少淡水魚の現状と系統保存」（共著）緑書房1997

- ⑤1991年から奄美大島でリュウキュウアユの生態、生活史を研究。2002年から奄美リュウキュウアユ保全委員会委員長として、流域全体の保全管理や地域おこしを含めた活動を展開している。

■西村 知 (にしむら さとる)

- ①1963年・京都府
②鹿児島大学法文学部経済情報学科教授
③東南アジア、南太平洋農村経済
④Satoru NISHIMURA, 2006, Fijian State and the Traditional Society, *Journal of Far Eastern Business and Economy*, 3(2).

■本田 碩孝 (ほんだ ひろたか)

- ①1943年・鹿児島県
②徳之島郷土研究会会長・鹿児島大学教育センター非常勤講師（「奄美の民俗文化」担当）
③民俗学、教育学
④奄美文庫7『奄美のむかし話』奄美文化財団、2007年
「奄美の民俗文化の事例～名瀬勝での御教示か～」、『民俗文化研究』、第8号、民俗文化研究所、2007年7月
「喜界島における島唄・島口の伝承」、『南島研究』、第48号、南島研究会、2007年11月
⑤『徳之島郷土研究会報』編集・発行、研究会の開催

『奄美ニューズレター』バックナンバー

号数	年・月	項目	目次	執筆者
1	2003年12月	特集：研究プロジェクト	発刊のあいさつ	山田誠
			島嶼圏政治行政システムと環境ガバナンス	山田誠
			島嶼コミュニティと環境ガバナンス	篠原隆弘
			自然環境と開発ポテンシャル A －資源としての自然－	北村良介 地頭蘭隆 西隆一郎
			自然環境と開発ポテンシャル B －環境保全型自立産業としての農業生産－	菅沼俊彦
			社会意識の変容と開発	石川英昭
			文化意識の変容と開発	廣瀬晋也
			産業・経済の変容と開発	皆村武一
		島嶼における情報ネットワーク	萩野誠	
島嶼スケッチ	公開シンポジウム－新しい奄美世界の創出－			
	鹿児島大学人文社会科学部研究科名瀬サテライト教室開設	萩野誠		

号数	年・月	項目	目次	執筆者
2	2004年1月	研究調査レビュー	神田嘉延編の出版の紹介と奄美研究の課題 「環境問題と地域の自立的発展」（高文堂）	神田嘉延
			貝塚時代後期土器と貝符	中村直子
			段階補正のなかの市町村経済－奄美群島区の経済モデル－	萩野誠

号数	年・月	項目	目次	執筆者
3	2004年2月	特別寄稿	“復帰50周年”を終えた奄美と大学の役割	永田行博
		研究調査レビュー	全員一致原則の機能と限界－奄美諸島の入会権を素材に－	采女博文
			軍政下奄美における人類学調査	桑原季雄
			離島地域の持続可能性向上に向けた産業育成手法 ～屋久島観光業を題材にした検討～	坂田裕輔
島嶼スケッチ	公開シンポジウム「新しい奄美世界の創出」に多数の参加者 －プロジェクト研究に地元からの熱い視線－	平井一臣		

号数	年・月	項目	目次	執筆者
4	2004年3月	研究調査レビュー	サンゴ礁海域の保全・利用・環境に関する一考察	西隆一郎
			「島嶼王権」の形成と海域世界 －比較考古学と比較史の視点から－	新田栄治
		島嶼スケッチ	復帰直後の衆院選挙にみる開発問題 鹿児島大学 公開シンポジウムに参加して	平井一臣 吉岡光一

号数	年・月	項目	目次	執筆者
5	2004年4月	研究調査レビュー	奄美におけるサツマイモ特産化の可能性	菅沼俊彦
			近世琉球における漢籍受容	高津孝
			島嶼部における環境ガバナンス －廃家電の収集運搬費用軽減に向けた取り組み－	西啓一郎

号数	年・月	項目	目次	執筆者
6	2004年5月	研究調査レビュー	屋久島の水文研究－土面川流域の降雨・流出特性－	地頭蘭隆
			古代の「シマ」雑感	糸尾達哉
			都市と農山漁村との交流圏と島嶼地域	萩野誠

号数	年・月	項目	目次	執筆者
7	2004年6月	研究調査レビュー	奄美群島の自立的発展をめぐって	宮廻甫允
			与論島と喜界島の農業の現状と課題	北崎浩嗣
		特別寄稿	書評：皆村武一著 『戦後奄美経済社会論－開発と自立のジレンマ－』 町の単独存続と将来を見据えた振興策	平井一臣 南政吾

号数	年・月	項目	目次	執筆者
8	2004年7月	研究調査レビュー	島嶼（離島）の放置自動車問題	土居正典
			離島における地域の人間形成と学校 －沖永良部島・国頭小学校の1970年代－	前田晶子
			森林環境の保全と自治体の役割 －アマミノクロウサギ訴訟を素材に－	采女博文
		島嶼スケッチ	第2回ふるさと喜界島交流フェスタ IN 鹿児島を終えて	生島常範

号数	年・月	項目	目次	執筆者
9	2004年8月	研究調査レビュー	島嶼社会の持続的発展のために	皆村武一
			奄美地域市町村の地方交付税の推移	朴源
			アリモドキゾウムシの根絶に向けて	津田勝男
			皆村武一著『戦後奄美経済社会論』を体験的に読む	前利潔
			書評：環境問題と地域の自立的発展 神田嘉延編著 高文堂出版社	高橋正弘
	島嶼スケッチ	沖縄にて奄美を考えたこと	花井恒三	

号数	年・月	項目	目次	執筆者
10	2004年9月	研究調査レビュー	奄美群島における風化残積土（赤土等）の土質特性（その1）	北村良介 中野裕二郎 深見健一
			島嶼社会の持続的発展のために（その2）	皆村武一
			物流から見た奄美経済	山本一哉
			島嶼における「法=社会」研究の課題	米田憲市

号数	年・月	項目	目次	執筆者
11	2004年10月	研究調査レビュー	鹿児島から南西諸島におけるヤムイモ栽培	遠城道雄
			奄美の方言	木部暢子
			森林環境の保全と自治体の役割 -アミノクロウサギ訴訟を素材に-	采女博文

号数	年・月	項目	目次	執筆者
12	2004年11月	研究調査レビュー	地元と連携した新機軸の研究に挑戦を	山田誠
			農村集落における子育ての協同-和泊町国頭の事例-	神田嘉延
			奄美の方言（2）	木部暢子
			喜界島におけるゴマ生産の現状とその将来性	北崎浩嗣
		しまゆむた	沖永良部島研究雑感	先田光演
			沖永良部の高倉調査	川上忠志

号数	年・月	項目	目次	執筆者
13	2004年12月	研究調査レビュー	奄美群島の新しい振興開発計画について	宮廻甫允
			名瀬市における環境共生活動の展開と定着の試み -2つの地域性集団の場合-	篠原隆弘・竹村剛
			連載 奄美群島区の経営者と地域資源 第1回 民間療法からの事業展開と伝統産業	萩野誠
			シマウタのエラボレーション	西元久明
		島嶼スケッチ	どうする奄美どうなる日本	越間多輝鐘

号数	年・月	項目	目次	執筆者
14	2005年1月	研究調査レビュー	奄美地域市町村の普通交付税の推移-与論町を中心に-	朴源
			奄美農産物の島外出荷について-沖縄との比較-	山本一哉
			連載 奄美群島区の経営者と地域資源 第2回 地域産業としての製パン業 大丸製パン社長 信 島 一氏	萩野誠

号数	年・月	項目	目次	執筆者
15	2005年2月	研究調査レビュー	種子島小浜遺跡発掘調査概要報告	中村直子
			徳之島喜念・佐弁砂丘一帯遺跡トマチン地区（仮称） 第一次発掘調査概報	新里貴之
			連載 奄美群島区の経営者と地域資源 第3回 同質的資源の産業化について 加計呂麻塩技研 代表 本田明博氏	萩野誠

号数	年・月	項目	目次	執筆者
16	2005年3月	特集：公開シンポジウム -新しい奄美世界の創出 -（1）	和泊町シンポジウムの記録掲載にあたって	平井一臣
			シンポジウム開会のあいさつ	泉貞吉
			プロジェクト代表あいさつ	山田誠
		研究調査レビュー	基調講演：持続的・自立的社会の創造に向けて	皆村武一
			奄美群島における風化残積土（赤土等）の土質特性（その2）	北村良介・深見健一
			書評：『島嶼圏開発のグランドデザイン』編 『奄美と開発-ポスト奄振事業と新しい島嶼開発-』	山本一哉
しまゆむた	沖永良部島の日本復帰運動	川上忠志		

号数	年・月	項目	目次	執筆者
17	2005年4月	研究調査レビュー	奄美大島『太家文書』訳稿	高津 孝
			数字で読む離島と政策 ～ハンディキャップとアドバンテージを中心に～	西啓一郎
			奄美の黒糖焼酎産業について（1）	山本一哉
			奄美返還関係外交文書にみる復帰運動	平井一臣
			自然災害と行政の責任（上）	采女博文

号数	年・月	項目	目次	執筆者
18	2005年5月	特集：公開シンポジウム ～新しい奄美世界の創出 ～（2）	アイデンティティと歴史認識	前利潔
			奄美諸島地域における考古学覚書 ～近年の弥生時代～中世初頭の研究を中心として～	新里貴之
			沖永良部島民の歴史、文化、アイデンティティ	高橋孝代
			「奄美」からの出郷民たち	本山謙二
		研究調査レビュー	奄美の黒糖焼酎産業について（2）～原料糖問題～	山本一哉

号数	年・月	項目	目次	執筆者
19	2005年6月	特集：公開シンポジウム ～新しい奄美世界の創出 ～（3）	第2部：シンポジウム「奄美の自立と産業戦略」 パネリスト：矢田 俊文（元九州大学副学長） 菅沼 俊彦（鹿児島大学） 山門 健一（沖縄大学） コーディネーター：山田 誠（鹿児島大学）	
		研究調査レビュー	連載 奄美群島区の経営者と地域資源 第4回 固有種の地域資源化 芳果園 代表 行 太市氏	萩野誠

号数	年・月	項目	目次	執筆者
20	2005年7月	研究調査レビュー	沖永良部における農業と人間形成	狩野浩二
			e-Learning システムの可能性	下園幸一
			アマミノクロウサギ自然権訴訟と改正行政事件訴訟法	土居正典
			奄美の黒糖焼酎産業について（3）	山本一哉

号数	年・月	項目	目次	執筆者
21	2005年8月	研究調査レビュー	奄美地域市町村の財政指標	朴源
			鹿児島県島嶼地域の市町村合併についての一考察 ～九州の他島嶼地域との比較検討から～	北崎浩嗣
			連載 奄美群島区の経営者と地域資源 第5回 競合と地域資源（有）徳之島公益社・（有）泉公益社 代表取締役 泉 哲仁氏	萩野誠
			奄美群島における風化残積土（赤土等）の土質特性（その3）	北村良介・深見健一

号数	年・月	項目	目次	執筆者
22	2005年9月	研究調査レビュー	奄美の方言（3）	木部暢子
			連載 奄美群島区の経営者と地域資源（中間報告） 第6回 地域資源と奄美群島区 ～特産品開発と隙間市場～	萩野誠
			自然災害と行政の責任（2）	采女博文

号数	年・月	項目	目次	執筆者
23	2005年10月	研究調査レビュー	魅せられて奄美～黒の宝島	原口泉
			「あまみ長寿・子宝プロジェクト」について	あまみ長寿・子宝プロジェクトチーム（鹿児島県）
			鹿児島県離島地域のごみ処理特性 ～与論町における調査を中心として～	坂田裕輔
			自然災害と行政の責任（3）	采女博文

号数	年・月	項目	目次	執筆者
24	2005年11月	研究調査レビュー	島尾敏雄の南島論	廣瀬晋也
			奄美調査日誌	篠原隆弘・竹村剛
			【書評】『奄美の多層圏域と離島政策』（山田誠・編著，2005，九州大学出版会）	下村研一
			【書評】鹿児島県地方自治研究所編『奄美戦後史～揺れる奄美，変容の諸相～』（南方新社，2005）	北崎浩嗣
		しまゆむた	【エッセイ】ぎをゆな考 知名町上平川集落の上平川大蛇踊り	石川英昭 斉藤美穂

号数	年・月	項目	目次	執筆者
25	2006年1月	研究調査レビュー	多瀬・掖玖両嶋と日本古代王権	糸尾達哉
			中小企業の情報セキュリティ対策の現状	下園幸一
			奄美におけるマンゴー生産の現状と課題（上）	北崎浩嗣
			奄美市の誕生と介護保険の運営	赤塚嘉寛

号数	年・月	項目	目次	執筆者
26	2006年3月	特集	シンポジウム「国際的な文化発信と奄美・沖縄」 パネリスト：稲村公望 河田真智子 清成忠男 平田隆義 山田 誠 コーディネーター：矢野利明	
		研究調査レビュー	サンゴ礁海域の安全利用に関する基礎的研究	西隆一郎 二ツ町知 伊藤秀行 長山昭夫
			分権改革と離島の小規模校 －国の義務教育費の一般財源化と学校現場－	栄勝仁

号数	年・月	項目	目次	執筆者
27	2006年6月	特別寄稿	奄美の研究イノベーションと包括連携協定	山田誠
		研究調査レビュー	闘牛をめぐる情報発信とネットワーク形成	尾崎孝宏 桑原季雄 西村明
			屋久島の資金循環構造	永田邦和

号数	年・月	項目	目次	執筆者
28	2006年9月	研究調査レビュー	企画イベント「世界自然遺産と持続的な発展」	山田誠
			桂庵500年祭に向けて －鹿児島県知事・阪本彰之助の祭文と400年祭－	東英寿
			奄美におけるマンゴー生産の現状と課題（下）	北崎浩嗣
		しまゆむた	奄美ですすむ鹿児島大学との連携	花井恒三
			奄美サテライト教室での受講感想 －奄美群島の世界自然遺産登録に寄せる思いを中心に－	財部めぐみ

号数	年・月	項目	目次	執筆者
29	2006年12月	特別寄稿	奄美の循環型社会形成と鹿児島大学 －奄美の「島」コスモス創出事業シンポジウム挨拶－	永田行博
			徳之島公開講座開講講演 奄美方言からみた奄美の文化	木部暢子
		研究調査レビュー	マルタの発展計画と経路依存型の発展 －地中海にある小島嶼国の発展戦略と自然環境－	山田誠
			ブルターニュ民謡から見た奄美民謡	梁川英俊
		しまゆむた	奄美の民俗文化研究の課題覚書	本田碩孝
		島嶼スケッチ	YS-11 搭乗体験記	二宮忠信
奄美サテライト教室情報				

号数	年・月	項目	目次	執筆者
30	2007年3月	特集：世界自然遺産と持続可能な発展－「奄美の『島』コスモス創出事業」シンポジウム－	ゲスト対談：世界自然遺産と環境政策	小野寺浩 養老孟司 司会：山田誠
			パネル討論：奄美社会からの声	
			「世界自然遺産と持続可能な発展」が発したメッセージ	山田誠

号数	年・月	項目	目次	執筆者
31	2007年6月	研究調査レビュー	沖永良部島、与論島、喜界島の水事情調査	瀬戸昌之
		しまゆむた	奄美民俗文化の事例 ～徳之島井之川和田キヨ嬢の生活史（1）～	本田碩孝
			沖永良部島の近代経済史料－東家文書の紹介	伊地知裕仁
島嶼スケッチ	平成19年度奄美サテライト教室開講式			

号数	年・月	項目	目次	執筆者
32	2007年9月	研究調査レビュー	奄美とはなにか(1)	小野寺浩
		しまゆむた	沖永良部島の戦争の歴史	川上忠志
			奄美民俗文化の事例 ～徳之島井之川和田キヨ嬢の生活史(2)～	本田碩孝
			奄美市における市町村合併に伴う行政情報システムの統合について	重田浩史
			奄美市の花・木の選定に関して	楠田 哲久
			奄美における持続可能な森林経営に関する試論 —宇検村におけるチップ工場再立地を手がかりに—	中津浜康熙
与論島の改葬	斉藤美穂			

号数	年・月	項目	目次	執筆者
33	2007年12月	研究調査レビュー	奄美大島の『にじいろタウン』を訪ねて —龍郷町立赤徳小学校における環境教育実践事例と大学生 による環境連想ゲームの提供—	大前慶和 赤星美穂 矢野真奈美
			奄美黒糖焼酎産業の動向	山本一哉
		しまゆむた	奄美民俗文化の事例 ～徳之島井之川和田キヨ嬢の生活史(3)～	本田碩孝
			奄美の古い宝物との付き合い方思考	朝沼榎
		島嶼スケッチ	平成20年度奄美サテライト教室説明会	

○編集後記

- 表紙の写真は、鹿児島大学水産学部の四宮教授よりご提供いただきました。本号掲載のシンポジウム特集でも紹介されていますが、奄美では「(リュウキュウ)アユ」のことを「ヤジ」と呼ぶそうです。
- 『奄美ニューズレター』に関して重要なお知らせをいたします。2003年12月より約4年間にわたって発行してまいりましたが、山田奄美委員会委員長の特別寄稿にもありますように、予算的な事情により、本号をもちまして発行を一時休止させていただく予定でおります。予算的な目処はたっておりませんが、来年度以降も発行を継続できますように私共も努力してまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。
- 本号「ちーびし」にバックナンバーのすべての目次を掲載いたしましたのでご覧ください。また、3月中に奄美サテライト教室のホームページにバックナンバーをPDFファイルで掲載する予定でおりますのでご活用ください。

(編集担当、山本)

研究責任者 木部暢子
奄美ニューズレター
発行 鹿児島大学

編集責任者 奄美委員会
AMAMI News Letter
発行日 2008年3月20日